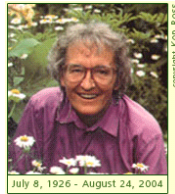


因果律の罭

永田 円了



エリザベス・キューブラー・ロス
Elisabeth Kubler Ross

人は死のまぎわに、目覚ましい変化をとげる

- 私は死の床にある人に教えを乞うてきた、
- 死はただ一回の試験だから
- 人生の暴風にも似たそのレッスン(試験)は、私たちが本来の私たちに立ち返らせてくれる
- 病氣と闘う愛とか勇氣は、子供たちへの贈り物
- どうかたくさん贈り物をしてあげてください



万人に等しくふりかかる死

- 死は人生で、最も素晴らしい経験にもなりえる
- そうなるかどうかは、その人がどう生きたかにかかっている

よい行いをしてきた

悪い行いをしてきた



よい死に方をする

悪い死に方をする

因果律の罭

神よ、あなたはヒトラーだ



- 40年間神に仕えてきて、引退したら脳卒中の発作が起きた
- 何もできない、歩くことすら出来なくなった
- だから私は烈火のごとく怒って、神をヒトラーと呼んだ

科学は人の心を豊かにしていますか — “いいえ”

科学というものは、人間の個性をどうすることもできない

- 私自身の漢方薬の体験

因果律の法則

科学は人間の精神を狭いところに導いた

(小林秀雄)

では、一体どうしたらいいのか

- この世の中、分からないことだらけ
- その中から、いろんなことを感じて育つ
- 分からないことから逃げない
- ちゃんとばかりしていてもくたびれる
- いい加減すぎてもたいへんだけれど、、、

ちゃんと、いい加減に生きる

本当に自分の人生を生きたの

- 50、60、70才の人は、やり残したことがいっぱいある
- 死が近づくにつれて、憤り、怒り、憎しみ、罪悪感がつる
- 自分のやりたいことができなかつた
- 他人を満足させるためだけに生きてきた
- 自分の人生を生きてこなかつた

